



Ciba Inc.  
 2008年2月8日 スイス・バーゼル  
 2008年2月12日 東京

News Release: 2007年 業績発表

チバ 純利益2億3,700万スイスフランを計上

- 売上：スイスフランで 3%増
- 営業利益：4%増
- 製紙・水処理剤ビジネス：引き続き改善
- 課題への取組み「Operational Agenda」：大幅なコスト削減を実現
- 2008年：マージン管理とイノベーションへの新アプローチに焦点
- 2008年の見通し：GDP成長と同レベルの売上増、営業利益 約 10%増、フリーキャッシュフロー 約 20%増

財務ハイライト (1株当たりデータを除き、単位は100万スイスフラン)

通年比較 - 継続事業

	リストラクチャリング、一時的な税金関連項目計上前				リストラクチャリング、一時的な税金関連項目計上後		
	2007	2006	増減率 %		2007	2006	増減率 % スイスフラン
			スイスフラン	現地通貨			
12月31日に終了した1年							
売上高	6 523	6 352	+3	+2			
売上総利益	1 874	1 849	+1				
営業利益 (EBIT)	552	531	+4		434	462	-6
営業利益 (EBIT) マージン	8.5%	8.4%					
継続事業による利益	311	306	+1		220	259	-15
継続事業による1株あたり利益	4.62	4.62	0		3.27	3.91	-16
フリーキャッシュフロー	300	195					

非継続事業およびリストラクチャリング、一時的な税金関連項目を含む通年比較

	2007	2006
12月31日に終了した1年		
継続事業による利益	220	259
非継続事業による利益、税額控除後	17	(300)
純利益	237	(41)
一株あたり利益	3.53	(0.63)

(参考為替レート： 100円 = 1.02スイスフラン； 1スイスフラン = 約98円)

アーミン・マイヤー取締役会会長のコメント：「当社の戦略的ポジションの見直しと集中的ポートフォリオ管理の結果、2007年は、リストラクチャリング費用計上前の営業利益が4%増加し、純利益として2億3,700万スイスフランを計上しました。2008年1月1日付で、ブレンダン・カミンズが新しい最高経営責任者(CEO)に就任し、新最高財務責任者(CFO)のユルグ・フェディヤーや新たにコーティング機能材セグメント統括に就いたトーマス・エンゲルハートなど、強力なチームとともに、チバを未来に向けて率いていきます。」

ブレンダン・カミンス最高経営責任者のコメント：「2007年、私たちは、業績を改善し、課題への取組み「Operational Agenda」を実行することで、重要な進展を遂げました。新たに導入したSAPシステムは、現在、全社の約80%で稼動しています。業務の更なるスリム化を図り、イノベーションの新しいコンセプトを立ち上げました。

2008年の重要優先課題は、マージンの管理と、製品の適正な価値を確保することです。私たちは、引き続きコスト削減に取組み、価格や数量に関して、選択的な値上げや、必要に応じた市場でのシェア獲得のための数量拡大戦略など、特別なアプローチを継続します。更に、マージンの改善のため、採算のとれない製品レンジからの撤退も視野に入れていきます。イノベーションへの新しいアプローチにより、成長と収益性において最高の可能性を秘めたテクノロジーに、一層効率的に資源を集中します。

経済の見通しが不透明で、原料コストの高留まりが見込まれるため、私たちは、2008年がスペシャルティ・ケミカルズ業界にとって、更に困難な一年になると予想しています。それに関わらず、当社は、コスト構造の改善と、選ばれた市場での利益ある成長を継続するであろうと自負しています。」

## 2007年度業績 - 概要

---

### アジアが牽引した売上増

年間の売上は、前年に比べて、スイスフランベースで3%増、現地通貨ベースで2%増の65億2,300万スイスフラン（約6,350億円）を計上しました（2006年：63億5,200万スイスフラン）。アジアが引続き、力強い成長を示し、現地通貨ベースで2006年に比べて7%増、特に中国では今回も2桁成長を記録しました。ヨーロッパでは、ドイツと東欧で堅調な増加が見られ、全体としてわずかながら前年を上回りました。中南米は、いずれも順調な成長傾向が続く一方、カナダでは弱含みでした。米国では、自動車および建設関連業界の緩やかな停滞の影響に関わらず、下半期にはより力強さが見られましたが、通年ではほぼ2006年と同レベルの売上でした。以上にも関わらず、全体として南北アメリカの売上の減少は、現地通貨ベースで1%に満たない範囲でした。

2007年の為替の影響は、強いユーロと英国ポンドが弱いUSドルを相殺し、1%プラスの作用となりました。

上市から1年未満の製品を含めた販売価格は、2006年より1%上昇しました。これらの新製品を除くと、価格は1%の下落となります。販売数量は、全体で3%増加しました。

### 原料コストの高留まりにも関わらず、営業利益マージンが改善

粗利益は、1%増の18億7,400万スイスフラン(2006年: 18億4,900万スイスフラン)で、粗利益率は、28.7%（2006年：29.1%）となりました。 リストラクチャリング費計上前の営業利益 (EBIT)は、2007年に4%改善し、5億5,200万スイスフラン（2006年：5億3,100万スイスフラン）でした。 リストラクチャリング費計上前の営業利益率は、通年で増加し、8.5%（2006年：8.4%）となりました。

効率改善、コスト削減、マージン管理のための課題への取組み「Operational Agenda」の施策により、約3%の原料コストの上昇を十分補って余りありました。プラスチック添加剤の収益性は引続き高く、製紙・水処理剤での施策は、四半期ごとに改善を示し続けました。コーティング機能材は、NAFTA地域での自動車および建設関連セクターのスローダウンの影響にかなり耐え続けましたが、いくつかの例外的に高い原料コストと、数ヶ所の生産設備での予定に基づいた短期的な生産停止からくる第4四半期のマージンへの影響に直面しました。

2007年の継続事業からの利益は、リストラクチャリング費および一時的な税金関連項目計上前で、1%増加の3億1,100万スイスフラン（2006年：3億600万スイスフラン）でした。

2006年にテキスタイル機能材事業とマスターバッチ事業を売却し、それに関連する事業の結果は、非継続事業として報告されています。非継続事業を含めると、純利益は2億3,700万スイスフラン（2006年：4,100万スイスフランの損失）となります。

フリーキャッシュフローは3億スイスフラン（2006年：1億9,500万スイスフラン）に増加しました。純借入金は僅かに増え、19億1,300万スイスフラン（2006年：18億5,400万スイスフラン）となりました。

### **課題への取組み「Operational Agenda」：2007年に大幅な節減効果**

---

課題への取組み「Operational Agenda」プログラムは順調に進展し、2007年には、当初想定していた6,000-7,000万スイスフランを上回り、9,500万スイスフランを超える節減を達成しました。プログラムは、成長を推進し、当社のコスト構造を2009年までに4-5億スイスフラン規模で改善するために、2006年半ばにスタートしました。2006年から2009年までに、リストラクチャリング費として2.5-3億スイスフランが見込まれています。2007年には、1億1,800万スイスフランのリストラクチャリング費が「Operational Agenda」から発生しました。2006年初頭以来、およそ1,100のポジションが削減されました。その内、約750のポジションが2007年、多くは下半期に削減されました。全体の人員数は、2007年12月末現在で13,319名（2006年：14,130名）でした。

プログラムは、イノベーション、マーケティング&セールス、生産のスリム化(Lean Manufacturing)、新しい全社規模のSAPシステム、グループ全体の業務の合理化など、重要な分野における数々の施策で構成されています。

多くの法人や事業所が、地理的配置の見直し（Geographical Footprint）プロジェクトの一環として統合され、3つの生産拠点が閉鎖されました。生産のスリム化（Lean Manufacturing）プロジェクトでは、全ての主要な生産拠点で、生産性を向上するためのアクションが実行され、生産コストの大幅な節減効果が既に現れてきています。新しいグローバルなSAPシステムは、ヨーロッパと南北アメリカの大部分で順調に導入され、現在、当社の業務の80%程度をカバーしています。マーケティング&セールスプロジェクトの一環として、チバは、全社で新しい価格設定モデルを導入し、収益性を一層明確な焦点とし、一貫した価格管理が可能になりました。そして、2008年の焦点であるマージンの管理も、この一環となります。

### **イノベーションへの新たなアプローチ - 成長と収益性の可能性への徹底した集中化**

---

2007年、「Operational Agenda」の中のイノベーションプロジェクトに関しては、コンセプトの段階を完了しました。イノベーションへの新たなアプローチは、成長と収益性で最高の可能性を有するテクノロジー分野への的確なリソース配分によって推進されます。より高い精度と効率を確保するため、既存のリソースを6つの全社レベルのリサーチ・センターに整理統合し、それぞれチバのコアテクノロジーである、保護と安定化(Protection and Stabilization)、着色（Color）、固体と液体の分離（Solid/Liquid Separation）、紙力とコーティング（Paper Strength and Coating）、界面とレオロジー（Interphase and Rheology）、ポリマー化と硬化剤（Polymerization and Curing Agents）の各分野に集中します。これらのリサーチ・センターは、プロセス開発センター、産業別応用技術（アプリケーション）センター、リージョンのテクニカル・センターによって、相互補完されます。

また、高い可能性を秘めた新たなテクノロジーを追究し、新たなビジネスチャンス確立することによって、チバの現在のコアテクノロジーの枠を超えた成長を推進する、新成長プラットフォーム（New Growth Platform）を設置しました。さらに、外部のリサーチ・パートナ

ーとの連携を一層拡大していきます。チバは、引続き年間約2億6,000万から2億7,000万スイスフランを研究開発に投資していく予定です。新しいイノベーション組織は、2008年に実施予定です。

## 2007年セグメント概要

---

### プラスチック添加剤

プラスチック添加剤の売上は、21億6,100万スイスフランで、スイスフラン、現地通貨共に前年比3%増となりました。ポリマー安定剤に対する高い需要が、2007年第2四半期におけるAtmer製品レンジの撤退という熟慮の上の決断の影響を相殺しました。潤滑油添加剤とパーソナルケアビジネスが力強い成長を示しました。

マージン管理への断固とした取組みにより、リストラクチャリング費計上前では、同セグメントは前年の高い営業利益率(14.9%)のレベルを維持し、営業利益は昨年比で3%増加しました。ターゲット製品の選定、戦略的な販売価格の管理という卓越したビジネスモデルの実施が、新規製品からの利益の増加を支えました。シンガポールの新しい酸化防止剤工場の建設は順調に進み、2008年3月には生産を開始します。これにより、プラスチック添加剤は全社におけるコストリーダーシップのポジションを強化し、アジアと中東市場への一層効率的な供給が可能となります。

### コーティング機能材

コーティング機能材の売上は、プラスチックおよびデジタルプリント市場での健全な成長により、スイスフラン、現地通貨共に2%増加し、18億3,700万スイスフランとなりました。同セグメントは、コーティング用添加剤および顔料分野の売上に影響を及ぼした、NAFTAでの自動車および建設分野でのスローダウンの影響に耐え続けました。売上はアジアで高く、欧州ではほぼ横ばいでした。

リストラクチャリング費計上前の営業利益率は11.9%(前年13.6%)でしたが、前述のNAFTAの状況とドイツでの景気後退によって、また、非常に高騰した原材料費とマージンの低下によって、印刷用インキや製品のライフサイクルが短い電子材料の分野で引き続き影響を受けました。第4四半期には、生産ユニットの一時的な休止により、吸収できないコストが発生しました。その一方で、デジタルプリントとエフェクト顔料ビジネスが好調に伸び、業績に大きく貢献しました。今年8月に稼働開始予定の中国、南京の高機能顔料工場は、当社のアジアにおける強力なポジションを支えます。

### 製紙・水処理剤

製紙・水処理剤の売上は、アジアと欧州での成長により、25億2,500万スイスフランとなり、スイスフランで3%増、現地通貨で1%増となりました。主に新しいマーケティング&セールスのビジネスモデルや厳格なコスト管理、そして生産ユニットの一部閉鎖といった製紙用化学品ビジネスの収益回復に向けた施策により、リストラクチャリング費計上前の営業利益率は4.6%(前年3.3%)にまで大きく改善しました。改善の傾向は2007年の全四半期を通じてみられ、2007年第4四半期はリストラクチャリング費計上前で6%でした(第1四半期2.4%;第2四半期4.7%;第3四半期5.4%)。業績は売上の増加の前に収益性の改善に戦略的な焦点を合わせた結果によるもので、収益性の低いビジネスからの撤退という慎重な決断も行いました。

アジアでは、製紙スピードの改善を図るスペシャルティケミカルに対する需要が継続して伸びました。2007年には中国、鎮江で特定の製紙用化学品の生産能力を増強しました。欧州

とNAFTAの市場は、ほぼ横ばいのままでした。水処理剤ビジネスは特に鉱業分野で成長を見せました。

## 2008年見通し

---

チバは、経済の見通しが不透明で、原料コストの高留まりが見込まれるため、2008年が、スペシャルティ・ケミカルズ業界にとって、更なる厳しい年であると予想しています。しかしながら、世界のビジネス環境が大幅に悪化することがないと仮定すれば、当社は現地通貨で、世界的に国民総生産（GDP）に沿ったレベルの持続的な売上成長と、約10%の営業利益の増加、そして約20%のフリーキャッシュフロー増加を達成すると見込んでいます。

CEOブレンダン・カミンズは、次のように述べています。「私たちは、ポートフォリオ上のそれぞれの事業が資本コストを上回る投資収益を生み出すことで、株主の方たちにとっての価値の創造に取り組む所存です。私たちは、資本とイノベーションの投資を、魅力的なリターンを提示し私たちのコアビジネスの強みの上に構築していける産業、テクノロジー、地方や地域に集中していきます。これから先、当社は、GDPと同レベルの年間の売上成長と年率10%程度の営業利益の成長を目指します。また、2008年以降、さらに大幅なフリーキャッシュフローの改善を期待しています。これは、“Operational Agenda”の集中的な実行、断固としたマージン管理、イノベーションパワーの拡大、オペレーション上の優位性推進、そして運転資本の継続的最適化によって達成されるでしょう。」

## 日本のチバ

チバ・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：田中和彦）は、2007年9月1日付で、それまで東京と大阪に分散していた本社機能を東京に統合し、旧社名のチバ・スペシャルティ・ケミカルズ株式会社から現在の社名に変更しました。事業拠点は、本社のほか、大阪営業所（大阪市淀川区）、研究開発センター（兵庫県尼崎市）です。

2007年の日本での売上は、435億円でした。

\*\*\*

チバ（スイス証券取引コード：CIBN）は、お客様の製品に付加価値の高い効果を提供しています。私たちは、革新的な製品やワンストップのエキスパートサービスを提供しながら、お客様に選ばれる企業となるよう努めています。私たちは、プラスチック、紙、自動車、建築物、ホーム・パーソナルケア製品など、幅広い製品に性能、保護、色、そして耐久性を与える、クオリティ・オブ・ライフの向上につながる効果を創造しています。世界120ヶ国以上で活動し、選ばれた市場でリーダーとなることを目標としています。全世界での2007年の売上高は約65億スイスフラン（約6,350億円）、研究開発に2億6,200万スイスフラン（約254億円）を投入しています。

このニュースリリースは、英文によるオリジナル版を抜粋、翻訳したものです。詳細につきましては、英文オリジナル版をご参照ください。

この件に関するお問合せ

チバ・ジャパン株式会社

コミュニケーションユニット

TEL: 03-5403-8220

FAX: 03-5403-8223

URL: [www.ciba.com](http://www.ciba.com) (グループ/英語)

[www.ciba.com/japan](http://www.ciba.com/japan) (日本法人/日本語)

## 連結財務ハイライト

(1株当たりデータを除き、単位は100万スイスフラン)

## 損益計算書

12月31日に終了した1年	リストラクチャリング、一時的な税金関連項目計上前		リストラクチャリング、一時的な税金関連項目計上後	
	2007	2006	2007	2006
売上高	6 523	6 352	6 523	6 352
売上総利益	1 874	1 849	1 874	1 849
リストラクチャリング、減損、その他費用			(118)	(69)
営業利益	552	531	434	462
財務損益	(125)	(161)	(125)	(161)
継続事業からの利益、税金および少数株主持分前	427	370	309	301
法人税等	(111)	(61)	(84)	(39)
少数株主持分	(5)	(3)	(5)	(3)
継続事業からの利益	311	306	220	259
継続事業からの1株あたり利益	4.62	4.62	3.27	3.91
非継続事業からの利益(税額控除後)			17	(300)
非継続事業からの1株あたり利益			0.26	(4.54)
当期純利益			237	(41)
1株あたり純利益			3.53	(0.63)

## 貸借対照表

12月31日現在	2007	2006
流動資産	3 340	3 554
有形固定資産	2 426	2 576
その他固定資産	3 022	2 951
資産合計	8 788	9 081
流動負債	1 972	1 566
固定負債	3 431	4 226
少数株主持分	80	75
資本	3 305	3 214
負債・資本合計	8 788	9 081
純借入金	1 913	1 854

## キャッシュフロー計算書

12月31日終了年度	2007	2006
営業活動からのキャッシュフロー	494	422
投資活動からのキャッシュフロー	(304)	(159)
財務活動からのキャッシュフロー	(563)	(491)
現金及び現金等価物への為替変動	11	4
現金及び現金等価物の減少	(362)	(224)
フリーキャッシュフロー	300	195

## リストラクチャリングおよび一時的な税金関連項目

	12月31日に終了した1年	
	2007	2006
リストラクチャリング、減損、その他費用(税額控除後)	82	47
税率変更の影響	9	0
合計	91	47
1株あたり利益への影響	1.35	0.71